

- 気候危機への対応が待たなしの中、ウクライナ情勢に伴うエネルギー問題や火力発電所の稼働停止等により、今夏今冬の電力需給のひっ迫が予想されるなど、東京の電力は危機的な状況に直面しており、都民生活や企業活動へ様々な影響を及ぼしています。
- 目の前の電力需給ひっ迫への対応とともに、その先を見据えた「脱炭素社会」の実現に向け、取組を一層強化・加速させていく必要があります。
- この実現には、都民・事業者の皆さまとの連携が欠かせません。電力需給ひっ迫に関する情報の共有など、電力を④減らす①創る①蓄める、HTTと一緒に進めていくため、本協議会を設置することとしました。

**熱中症に注意して
節電に取り組みましょう**

HTT 電力を
へらす
つくる
ためる



✓ 公式サイト「Tokyo Cool Home & Biz」

検索

東京HTT

TokyoTokyo

今夏の電力需給が厳しくなる時期を「夏のHTT推進期間」として、熱中症に注意し、ご家庭、事業所などで節電へのご協力をお願いいたします。

○ 取組内容

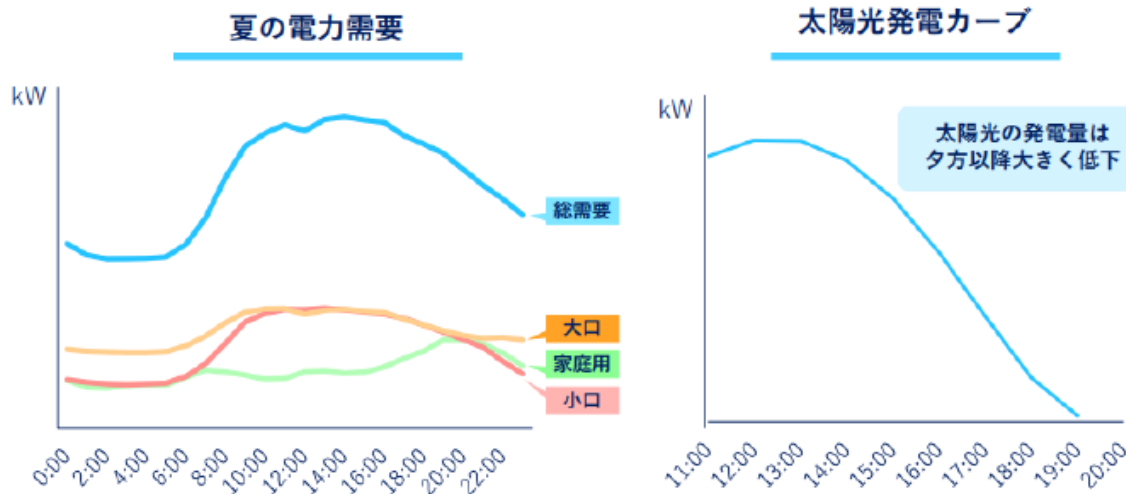
- ・ 推進期間： **7 / 1 ~ 9 / 30**
- ・ ご家庭や事業所での節電等の実施
- ・ ポスターの掲示など広報へのご協力
- ・ 脱炭素化に向けた取組 等

○ 期間終了後の取組

- ・ 秋頃、節電の取組を皆様から募集いたしますので、ぜひご応募ください。
- ・ 優れた取組を表彰させていただくとともに、事例集として取りまとめ、冬の取組へとつなげさせていただきます。

日	月	火	水	木	金	土
夏のHTT推進期間					7/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	8/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	9/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- ✓ 熱中症に注意して、節電に取り組みましょう。
- ✓ 特に、電力需給が厳しくなる傾向のある夕方17～20時は、さらなる節電・省エネの工夫にご協力ください。
- ✓ こうした取組により、電気の契約アンペアを変更すると、さらに電気代の節約につながります。



■ 電力需要は日中13時～17時頃に高まる傾向
 ■ 電力需給は太陽光発電の出力が減少する17時～20時頃に厳しくなる傾向
 【出典】「夏季の省エネ・節電メニュー」（令和4年6月資源エネルギー庁公表）



電気を減らす

節電・省エネ行動を 実践する

- ✓ 家電製品の使用を控える工夫をする
- ✓ 消費電力が小さくなるような使い方を

他の方法に 切り替える

- ✓ 省エネルギー性能が高い家電製品等
- ✓ 太陽光発電等の再生可能エネルギー
- ✓ 断熱性能の高い家に住む
- ✓ 事業所において省エネルギー性能の高い機器



ピークをずらす

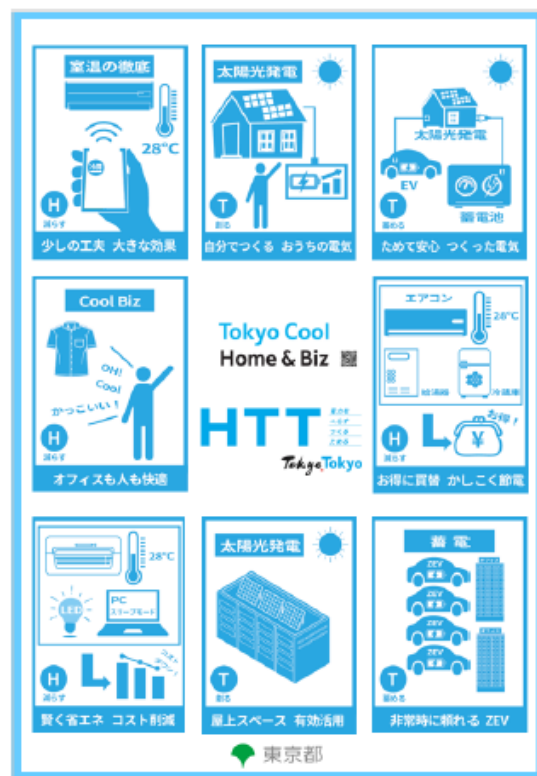
電力需給が厳しくなる時間帯を 避ける

- ✓ 消費電力の大きい家電製品の同時使用を避ける
- ✓ 電力需給が厳しくなる傾向のある夕方17～20時は家電製品の使い方を工夫する
- ✓ 節電マネジメント（デマンドレスポンス）等のエネルギーマネジメントにより電気使用のピークをずらす
- ✓ 太陽光発電などから創った電気を蓄電池やEVに蓄めて使用する

- 公式サイト「Tokyo Cool Home & Biz」で、**ちらし**や**ポスター**を掲載しています。
- **店頭**や**オフィス**、**HP**に掲載することで、**節電**をはじめとした自らの**HTT**の取組を**PR**していただくとともに、**節電の呼びかけ**にもご協力ください。



〔ちらし〕



〔ポスター〕

✓ 公式サイトから
簡単ダウンロード



「Tokyo Cool Home & Biz」

検索

東京HTT